

長野発

オンラインフォーラム

2020年
10月17日(土)

開演:13時00分
終演:15時45分

がんと生きる こころとからだ"私らしく"

がんになつても人生は続きます。

早期診断・治療で治る可能性が高まり、

新薬の開発など治療の幅も広がってきました。

しかし、がんと生きる本人の不安や

苦しみは消えています。

副作用が心身に影響を及ぼし、

治療の長期化が経済的な負担にもなっています。

コロナ禍で誰にも相談できず

孤立している人も少なくありません。

二人に一人ががんにかかる時代。

誰もがなりうるこの病とどう向き合い、

支援の輪を広げていくのか、

フォーラムを通じて考えていきます。

がんと生きる

こころとからだ" みらしく



パネリスト

おやま つねお

小山 恒男

長野県厚生農業協同組合連合
佐久総合病院
佐久医療センター
内視鏡内科部長



パネリスト

おおくぼ じゅんいち

大久保 淳一

NPO法人 5years 理事長



パネリスト

さいとう ちえみ

斎藤 智恵美

松本がん哲学
みずたまカフェ 代表

滋賀医科大学卒業。佐久総合病院の研修医となり、同病院内科医長、胃腸科部長を経て、2014年より現職。内視鏡手術の世界的権威として治療にあたるとともに、国内外の医師に対して、内視鏡手術の手技を指導している。2017年第71回日本食道学会学術集会会長。2020年食道色素研究会代表幹事。2007年・2010年にTop reviewer of GIE (Gastrointestinal Endoscopy) を受賞。著書「Endoscopic surgery 切開・剥離EMR」など多数。

長野県生まれ。1999年 シカゴ大学 MBA 取得。1999 - 2014年 ゴールドマン・サックス在籍。2007年 精巢がんを発病。最終ステージまで進行し生存率 20% 以下と言われるなか一命を取り留め、翌年同社に復職。2013年にサロマ湖 100 km ウルトラマラソンに復帰し、7年ぶりの完走を果たす。現在、日本最大のがん患者支援団体 NPO 法人 5years を運営する傍ら、執筆・講演を行っている。

著書『いのちのスタートライン』(講談社)。



リモート出演

なかむら まさと

中村 将人

社会医療法人財団慈泉会
相澤病院
がん集学治療センター
化学療法科
統括医長

信州大学医学部卒業。2007年から現職。遺伝子検査などを通じた“がんゲノム医療”を実践し、患者一人ひとりに合わせた治療を提供している。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、指導医。日本がん治療認定医機構暫定教育医、認定医。American Society of Clinical Oncology (ASCO) active member、European Society of Medical Oncology (ESMO) メンバー。医師自分がかかりたい医師を選出する Best Doctors 2016-2017、2018-2019、2020-2021にそれぞれ選出された。



コーディネーター

まちなが としお

町永 俊雄

福祉ジャーナリスト

1971年 NHK 入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

ホクト文化ホール
中ホールより配信します。

会場での観覧は
できません



地域文化の拠点として、文化創造の場として、
豊かな心が芽生えるホール



開演: 13時 終演: 15時45分

問い合わせ

NHK厚生文化事業団

「がんオンラインフォーラム」係

電話 03-5728-6633

(平日 午前10時~午後5時)

プログラム

第一部

- ・内視鏡手術がひらく最新医療

- ・オーダーメイドの化学療法

休憩

第二部

- ・SNSがつなぐ、希望

- ・「がん哲学」で人生と向き合う

オンラインフォーラム「がんと生きる」今後の予定

2021年 1月17日(日) 横浜発

※今後の新型コロナウィルス感染症の拡大状況により
変更が生じる場合がございます。

